

2 月期相場概況

2 月期の日経平均株価は約 72 円下落した。期中の高値は 2/22 の日中高値 10,449 円、安値は 2/9 日中安値 9,867 円。

2010 年 2 月期の日経平均は前期からの下落を引き継ぎ一時 10,000 円の大台割れもあったが、そこからさらなる下落はなく、1 月末と比べて微下げだった。

前期末 1 月最終週は、米国の新金融規制案や住宅関連・雇用関連の指標の悪化を受けて大幅に続落、日経平均もこれを受けて下落を続け、結局 10,198 円という 1 月安値で 1 月期を終える形となったが、今期 2 月に入ってから欧州の財政懸念、いわゆる PIIGS 問題により株式市場の軟調が続き、為替もリスク回避から再び円高が加速し、2/5 には 300 円幅の下落、週明け 2/8 には日経平均は 10,000 円台の大台を割り込んだ。しかしそこからさらなる下落は起きず 2/9 の安値 9,867 円を底に 10,000 円を中心としたもみ合いを続け、結局 10,092 円で 2 月 SQ を迎えた。2 月 SQ 明けからも何度か 10,000 円の大台を試すような下げに見舞われたが、ここは割り込むことなく下げ一服、PIIGS 問題も一旦落ち着いた形で、オリンピックが始まると日本市場は完全に小動きとなってしまう、10,250 円を中心として ±150 円ほどの小康状態が続いた。結局 10,126 円で今期を終えた。

本資料使用上の留意点について

・本資料は当社が信頼できると考える情報ベンダーから取得したデータをもとに作成されておりますが、機械上に誤りが発生する可能性があります。当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。本資料は、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料にて言及されている投資やサービスはお客様に適切なものであるとは限りません。また、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。本資料の論旨と一致しない他のレポートを発行している、或いは今後発行する可能性があります。本資料の利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいませうようお願い申し上げます。